

きたひろしま

広島県  
北広島町

# 議会だより

vol.32  
2013. 5. 1



ピカピカの1年生 芸北小学校入学式

## 第1回定例議会 〈2月4日～2月14日〉

|                       |         |
|-----------------------|---------|
| 平成25年度骨格予算 .....      | P2      |
| 平成24年度2月・3月補正予算 ..... | P3      |
| 提出議案の審査結果 .....       | P4      |
| 一般質問 17議員が町政を問う ..... | P5～P13  |
| 意見書提出 .....           | P13     |
| 新しく選ばれた議員と役割 .....    | P14～P15 |

3月に町長選挙及び町議会議員選挙が実施されるため、2月に定例議会が開催され、25年度骨格予算及び24年度補正予算が決まった。また、選挙後の新体制により、3月臨時議会で24年度補正予算が決まった。その概要は、次のとおりである。

## 平成25年度骨格予算決まる

一般会計

# 150億7,000万円 計上

| 会計名      | 平成25年度<br>骨格予算額(A) | 平成24年度<br>当初予算額(B) | 増減額<br>C=A-B | 増減率(%)<br>C/B×100 |
|----------|--------------------|--------------------|--------------|-------------------|
| 一般会計     | 150億7,000万円        | 151億5,000万円        | △8,000万円     | △0.5              |
| 特別会計     |                    |                    |              |                   |
| 国民健康保険   | 22億6,000万円         | 22億3,200万円         | 2,800万円      | 1.3               |
| 下水道事業    | 7億7,200万円          | 6億9,800万円          | 7,400万円      | △10.6             |
| 農業集落排水事業 | 3億5,100万円          | 3億5,400万円          | △300万円       | △0.8              |
| 介護保険     | 25億5,200万円         | 23億4,200万円         | 2億1,000万円    | 9.0               |
| 簡易水道事業   | 3億600万円            | 3億900万円            | △300万円       | △1.0              |
| 電気事業     | 4,590万円            | 4,690万円            | △100万円       | △2.1              |
| 芸北財産区    | 50万円               | 120万円              | △70万円        | △58.3             |
| 診療所      | 1億7,700万円          | 1億7,400万円          | 300万円        | 1.7               |
| 情報基盤整備事業 | 5億6,000万円          | 4億2,100万円          | 1億3,900万円    | 33.0              |
| 後期高齢者医療  | 2億9,000万円          | 2億7,480万円          | 1,520万円      | 5.5               |
| 計        | 223億8,440万円        | 220億290万円          | 3億8,150万円    | 1.7               |

### 骨格予算とは…

3月に町長及び町議会議員の選挙が実施されるため、継続事業や人件費、経常事業経費などの必要最小限度の経費で編成したものです。6月に政策的経費や新規事業を加えた補正予算が編成されます。

### 前年度と比較して…

骨格予算にもかかわらず、平成24年度当初予算と比較して8千万円しか減少していません。その理由は、骨格予算に小学校統廃合による新築経費(6億3450万円)やきたひろネット事業への繰出金(9472万円)などが計上されているためである。

| 公営企業会計 | 平成25年度<br>骨格予算額(A) | 平成24年度<br>当初予算額(B) | 増減額<br>C=A-B | 増減率(%)<br>C/B×100 |
|--------|--------------------|--------------------|--------------|-------------------|
| 水道事業   |                    |                    |              |                   |
| 収益的収入  | 1億5,454万円          | 1億5,398万円          | 56万円         | 0.4               |
| 収益的支出  | 1億5,454万円          | 1億5,940万円          | △486万円       | △3.0              |
| 資本的収入  | 4,309万円            | 2,789万円            | 1,520万円      | 54.5              |
| 資本的支出  | 8,405万円            | 6,699万円            | 1,706万円      | 25.5              |
| 豊平病院事業 |                    |                    |              |                   |
| 収益的収入  | 8億4,360万円          | 8億4,026万円          | 334万円        | 0.4               |
| 収益的支出  | 8億4,360万円          | 8億4,026万円          | 334万円        | 0.4               |
| 資本的収入  | 9,132万円            | 1,860万円            | 7,272万円      | 390.9             |
| 資本的支出  | 1億2,183万円          | 4,720万円            | 7,463万円      | 158.1             |

町民生活に  
直結する予算  
骨格予算とはいえ4  
月からの町民生活に直

賛成討論

例年予算と大差ない  
骨格予算  
町長・町議のダブル選  
挙を控えており、6月補  
正の肉付け予算までの  
経常経費に主眼を置き、  
継続事業も将来必要な  
事業のみに絞り込み、最  
小限計上して編成すべ  
きである。しかし骨格予  
算には新規事業が9件、  
1億2948万円含ま  
れており、例年の当初予  
算と大差がなく骨格予  
算の体をなしていない。

反対討論

中村 勝義

平成25年度骨格予算

反対討論

賛成討論

- 美濃 孝二
- 批判のある道の駅に  
多額の予算
- ①選挙の争点となつて  
いる道の駅に1億4000万円の増額
  - ②解放同盟補助金52万  
円が残っている
  - ③八重遺族会の慰霊碑  
建立補助金は広島市  
の例を参考にしたと  
いうが納得できない
  - ④住宅リフォーム普及  
事業が削られている
  - ⑤道の駅オーブニング  
費用700万円は指  
定管理者を優遇し  
ざる。

反対討論

結ぶ重要な予算である。  
政権交代後、景気回復に  
向けた取組みに期待も  
大きい中、地方自治の運  
営を止めることなく、し  
っかりと進めていかな  
ければならない。安心安  
全な町づくり、住民福祉  
の向上のためのきめ細  
やかな予算も組まれて  
いる。

平成24年度補正後の  
一般会計予算

# 160億3,500万円

平成24年度2月補正予算

一般  
会計

## △1億5,500万円

### ▼一般会計2月補正予算の概要

|                  |            |
|------------------|------------|
| ●生活保護扶助費の追加      | 1,400万円    |
| ●バス運行補助金の追加      | 668万円      |
| ●生活用水整備補助金の追加    | 210万円      |
| ●小学校整備事業国庫補助金の調整 | △1億9,064万円 |



上荒神原行きバス

平成24年度3月補正予算

一般  
会計

## 2億2,380万円

### ▼一般会計3月補正予算の概要

|                 |           |
|-----------------|-----------|
| ●町道改良事業         | 2億6,577万円 |
| ●小水力発電所整備補助事業   | 2,718万円   |
| ●道の駅第2期整備事業     | 2,747万円   |
| ●運動公園長寿命化計画事業   | 1,000万円   |
| ●減債基金積立金        | 3億円       |
| ●事業実績・精算に伴う予算調整 |           |



壬生川西発電所

## 議案に対する主な質疑

### 2月定例議会

平成25年度  
一般会計骨格予算

**問** 骨格予算というが、本格的な予算ではないか。

**答** 24年度からの主要事業が約16億円余入っており、それを除けば134億円、ほとんどが経常経費、義務的経費である。

**問** なぜ6月までの暫定予算としなかったのか。

**答** 12カ月の経常経費、義務的経費はハッキリしており、政策経費を補正で組むうえでも短期間である。

**問** 道の駅オープンイベント費用すべて町で負担すべきなのか。

**答** 開業時点のイベントは町で負担する。  
**問** 道の駅への農産物の集出荷体制は、生産者協議会の役員体制を確立し、町

と連携し地域に向く。

**問** 地域経済活性化策として住宅リフォーム支援事業補助金の復活は、他の制度との整合性や関係課と協議が必要。

**答** 生活用水施設整備事業（井戸ボーリング補助）予算は足りるのか。要望が多く、補正も考える。

### 3月定例議会

平成24年度  
一般会計補正予算

**問** 道の駅の見直しの内容は、4月中旬に見直し案を示す。

**問** 臭気対策は、新年度には臭気採取器具を購入する。

**問** 住宅リフォーム助成の増額を、町単独の事業として継続するかどうかが再考が必要。

# 提出議案の審査結果

## 平成25年 2 月定例議会

### 【賛否が分かれた議案】

○賛成 ●反対

| 議案名                  | 藤堂 | 蔵升 | 梅尾 | 田村 | 美濃 | 室坂 | 浜田 | 真倉 | 久茂谷 | 藤井 | 中村 | 日山 | 大下 | 箕牧 | 宮本 | 亀岡 | 中田 | 大林 | 伊藤 | 審査結果 |
|----------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|------|
| 町立学校設置条例の改正          | ○  | ○  | ○  | ○  | ●  | ○  | ○  | ○  | ○   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | 可決   |
| 町立八幡こども園設置条例の廃止      | ○  | ○  | ○  | ○  | ●  | ○  | ○  | ○  | ○   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | 可決   |
| 権利の放棄                | ○  | ○  | ○  | ●  | ●  | ○  | ○  | ●  | ○   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ●  | ○  | ○  | ○  | 可決   |
| 過疎地域自立促進計画の一部変更      | ○  | ○  | ○  | ○  | ●  | ○  | ○  | ○  | ○   | ○  | ●  | ○  | ○  | ○  | ○  | ●  | ○  | ○  | ○  | 可決   |
| 平成24年度 一般会計補正予算（第5号） | ○  | ○  | ○  | ○  | ●  | ○  | ○  | ○  | ○   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ●  | ○  | ○  | ○  | 可決   |
| 平成25年度 一般会計 骨格予算     | ○  | ○  | ○  | ○  | ●  | ○  | ○  | ○  | ○   | ○  | ●  | ○  | ○  | ○  | ○  | ●  | ○  | ●  | ○  | 可決   |
| 国民健康保険特別会計 骨格予算      | ○  | ○  | ○  | ○  | ●  | ○  | ○  | ○  | ○   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | 可決   |
| 下水道事業特別会計 骨格予算       | ○  | ○  | ○  | ○  | ●  | ○  | ○  | ○  | ○   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | 可決   |
| 介護保険特別会計 骨格予算        | ○  | ○  | ○  | ○  | ●  | ○  | ○  | ○  | ○   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | 可決   |
| 後期高齢者医療特別会計 骨格予算     | ○  | ○  | ○  | ○  | ●  | ○  | ○  | ○  | ○   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | 可決   |

### 【全員一致で可決した議案】

- ・ 新型インフルエンザ等対策本部条例
- ・ 町道の構造の技術的基準に関する条例
- ・ 町道に設置する道路標識の寸法等に関する条例
- ・ 準用河川における河川管理施設等の構造的基準に関する条例
- ・ 高齢者、障がい者等の移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例
- ・ 道路占用料に関する条例の改正
- ・ 法定外公共物等管理条例の改正
- ・ 都市公園条例の改正
- ・ 町営住宅設置及び管理条例の改正
- ・ ゆうあいネット施設撤去工事の契約
- ・ 豊平統合小学校（仮称）校舎等新築工事の契約変更
- ・ 平成24年度 下水道事業特別会計補正予算（第2号）
- ・ 平成25年度 農業集落排水事業特別会計 骨格予算
- ・ 平成25年度 簡易水道事業特別会計 骨格予算
- ・ 平成25年度 電気事業特別会計 骨格予算
- ・ 平成25年度 芸北財産区特別会計 骨格予算
- ・ 平成25年度 診療所特別会計 骨格予算
- ・ 平成25年度 情報基盤整備事業特別会計 骨格予算
- ・ 平成25年度 水道事業会計 骨格予算
- ・ 平成25年度 豊平病院事業会計 骨格予算
- ・ 壬生小学校校舎等新築工事の契約
- ・ 陳情審査 地方財政の充実・強化を求める要望書
- ・ 陳情審査 業者婦人の健康と営業を守り、地位向上をはかる施策の充実、及び「所得税法第56条の廃止」を求める請願書
- ・ 発議 町議会会議規則の改正
- ・ 発議 町議会委員会条例の改正
- ・ 地方財政の充実・強化を求める意見書の提出
- ・ 所得税法第56条の廃止を求める意見書の提出

## 平成25年 3 月臨時議会

### 【賛否が分かれた議案】

○賛成 ●反対

| 議案名                                                          | 浜田 | 中田 | 久茂谷 | 藤堂 | 梅尾 | 森脇 | 柿原 | 室坂 | 中村 | 伊藤 | 真倉 | 藤井 | 蔵升 | 田村 | 美濃 | 大林 | 宮本 | 審査結果 |
|--------------------------------------------------------------|----|----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|------|
| 障害者自立支援法の一部を改正する法律及び障害者自立支援法施行令の一部を改正する政令の施行に伴う関係条例の整理に関する条例 | ○  | ○  | ○   | ○  | ○  | ○  | ○  | ●  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | 可決   |

### 【全員一致で可決した議案】

- ・ 同意 1 号 副町長の選任の同意について
- ・ 同意 2 号 監査委員の選任の同意について
- ・ 同意 3 号 教育委員会委員の任命の同意について
- ・ 専決処分（平成24年度一般会計補正予算 第6号 壬生小学校スクールバス運行業務委託料の債務負担行為補正）について
- ・ 指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する基準を定める条例
- ・ 指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例
- ・ 指定地域密着型サービスの事業の人員及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例
- ・ 課設置条例の一部改正
- ・ 暴力団排除条例の一部改正
- ・ 教職員住宅設備及び管理条例の一部改正
- ・ 交流館天狗の里、及び天狗の里公園の指定管理者の指定について
- ・ 財産（八幡小学校の土地）の処分について
- ・ 財産（八幡小学校の建物・施設）の無償譲渡について
- ・ 財産（八幡教職員住宅及び倉庫）の無償譲渡について
- ・ 町道の路線の廃止について
- ・ 町道の路線の認定について
- ・ 平成24年度 一般会計補正予算（第7号）
- ・ 平成24年度 国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
- ・ 平成24年度 下水道事業特別会計補正予算（第3号）
- ・ 平成24年度 農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）
- ・ 平成24年度 介護保険特別会計補正予算（第4号）
- ・ 平成24年度 簡易水道特別会計補正予算（第3号）
- ・ 平成24年度 電気事業特別会計補正予算（第3号）
- ・ 平成24年度 芸北財産区特別会計補正予算（第2号）
- ・ 平成24年度 診療所特別会計補正予算（第2号）
- ・ 平成24年度 情報基盤整備事業特別会計補正予算（第3号）
- ・ 平成24年度 後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
- ・ 平成24年度 水道事業会計補正予算（第2号）
- ・ 平成24年度 豊平病院事業会計補正予算（第1号）
- ・ 発議 委員会条例の改正（総務常任委員会の所管に危機管理監を追加）

※中村議員は「平成24年度一般会計補正予算（第7号）」採決から欠席。加計議長は採決には加わりません。

## 一般質問の順番と質問項目

## 2月定例議会 一般質問

# 17議員が町政を問う

どうする？  
私たちの町づくり

質問時間30分。質問回数は各項目ごとに3回まで

| ページ | 質問議員 | 質問項目                                                                |    |        |                                                     |
|-----|------|---------------------------------------------------------------------|----|--------|-----------------------------------------------------|
|     |      |                                                                     | 9  | 箕牧智之   | 周辺部対策を問う                                            |
| —   | 中村勝義 | 万全か。産直・物販売上目標達成方策は<br>過疎債活用し、医療人材確保を                                | 9  | 藤堂修壮   | 農地バンクの創設は<br>県道改良の促進は                               |
| 5   | 宮本裕之 | 高齢者・障害者の共同住宅の必要性を問う<br>小学校統合でさらなる食育の充実を                             | 10 | 大下正則   | 町内の会社等における<br>障害者法定雇用率の実態                           |
| 6   | 蔵升芳信 | ふるさと納税への取り組みを積極的に                                                   | 10 | 美濃孝二   | 危険な米軍機の低空飛行を中止させ町民の安全を守れ<br>道の駅第2期整備事業に対する町民の疑問に答えよ |
| 6   | 真倉和之 | 中学校のクラブ活動の<br>現状と今後の方針について                                          | 11 | 浜田芳晴   | 若者の定住策を問う                                           |
| 7   | 大林正行 | きたひろネットの諸問題を問う                                                      | 11 | 伊藤久幸   | 雇用、定住促進策を<br>国民健康保険税の負担増はあるか                        |
| 7   | 藤井勝丸 | 地方公務員の給与削減より先に国会議員を減らせ<br>道路改良工事(町道分のみ)予算と執行状況を問う<br>体罰の禁止は徹底しているのか | 12 | 中田節雄   | 中国の有害濃霧の被害対策をどうするのか<br>町道の維持管理について                  |
| 8   | 室坂光治 | 1級河川小河内川今吉田周辺の改修と<br>県道豊平安佐線の道路改良について問う<br>定住促進住宅の更なる計画を求める         | 12 | 亀岡章治   | 民意を尊重する行政の推進を求める                                    |
| 8   | 梅尾泰文 | 「心の病」休職職員<br>地元の小規模高校を支えよう<br>米軍機「騒音測定器」の活用結果は                      | 13 | 久茂谷美保之 | 中学校整備は                                              |

本町には65歳以上の一人暮らしは、1800人以上おられる。介護施設に入所待ちの人も500人を超えている状況である。

**答**  
福祉課長

**問** 日本は超高齢社会に突入し、社会保障制度も破綻寸前である。中山間地域における高齢者・障害者の一人暮らしも増加していく中、共に生活し助けあえる共同住宅（シェアハウス）のような施設が必要と思うが町としての考えを問う。



宮本 裕之

**問** 高齢者・障害者の共同住宅の必要性を問う

**答** モデル的な共同住宅建設に研究努力する

共同住宅（シェアハウス）の必要性は地域の抱える課題に対応するものであり、今後モデル的な施設の設置に向け研究努力していきたい。

小学校統合でさらなる食育の充実を

**問** 4月から芸北地域3校、豊平代田地域の南方小と壬生小も統合し新たなスタートを切ることにになった。教育の柱となる体力の向上に食育の充実が極めて重要であり、さらなる地産地消を求める。

**答** 学校教育課長

現在、町内の小学校給食における地元産の食材の使用率は3割から4割で、5割を超える月もある。予算を考慮しながら、より多くの地元産の食材を提供できるように取り組んでいきたいと考える。地元を生産者の顔が見えることも大切であり、地域に根ざした食育を図っていく。



蔵 升 芳 信

**問** 「ふるさと納税」への  
取り組みを積極的に

**答** 制度全般の  
仕組み・あり方を再考する

**問** 「生まれ育った  
古里」「すばらし

い郷土芸能や自然が  
あり心温かい町」と  
して北広島町を愛し  
応援したい。この「ふ  
るさと納税」はこう  
した思いの表れとな  
る制度であるが、こ  
の制度に対する本町  
の取り組みは他の自  
治体に比べて誠に不  
十分である。

**答** 総務課長

町外に居住する町  
職員は86人、一部職  
員についてはこの制  
度を活用している。

町外から勤務する  
町職員、町内企業に  
3000人を超える  
町外からの通勤者、  
あるいは全国におら  
れる本町出身者等々、  
こうした方々にこの  
制度への協力を呼び  
かける取り組みが必

要ではないか。

ちなみに町職員で

についても検討を行う。

**答** 町長

「ふるさと納税」  
をしていただいた方  
と北広島町の結びつ  
きをより高めて行く、  
そうした仕組み思い  
の中でこれを運用す  
れば、お互いの利益に  
つながり絆も深まる。  
制度が活かせるよう  
あり方を検討する。

町職員であるなら  
ば「ふるさと納税」  
制度に積極的に関わ  
る気持ちを持つても  
らいたい。

「ふるさと納税」  
をいただいた方々へ  
のお礼となる記念品



真 倉 和 之

**問** 中学校のクラブ活動の現状と  
今後の方針を問う

**答** 生徒の人間形成に資する  
活動として部活を展開する

**問** 中学校のクラ  
ブ活動は、スポ

ーツに興味と関心を  
持つ同好の生徒が、  
より高い水準の技能  
や記録に挑戦する中  
でスポーツの楽しさ  
や喜びを味わい、豊  
かな学校生活を経験  
する活動であること  
もに体力の向上や健  
康の増進、学力面に  
おいては、体力・持  
久力・集中力にも極  
めて効果的な活動で  
ある。中学校のクラ  
ブ活動の現状と今後  
の方針を問う。

**答** 教育長

近年生徒数の減少  
が著しく、部活動の

種類によってはチー  
ム編成が困難であつ  
たり、過去の実績と  
同等の成果を出すこ  
とが難しい状況にも  
あるが、今年度は町  
内の中学校陸上部や  
吹奏楽において県大  
会入賞を果たす活動  
もしている。地域の  
特色であるスキーに  
関しては、毎年県大会  
全国大会へ出場して  
おり結果に関わらず  
生徒においては、部  
活動は目的を達成す  
るための効果的な活  
動となっており、生  
徒一人一人の心の中  
に刻み込まれている  
と考えている。



▶ 中学校のクラブ活動

## 17議員が町政を問う



大林 正行

**問** きたひろネットの5700万円は損害金ではないのか

**答** 地方財政上の差異であり、行政運営上よくあることである

**問** きたひろネット4億円問題の和解は正しい選択であったか。

**答** 町長

公共事業の事態の解決策としては、最もよい方法をとったということである。

**問** 指定管理者はどのような利用率向上施策を実施したのか。また、利用率の目標は。

**答** きたひろネットセンター次長

電話により利用勧奨している。利用者数の目標は6000世帯である。

**問** 音声お知らせ放送だけのバラ売りを考える。

**答** きたひろネットセンター次長

個別サービスにする。と経営が割高になる。また、収入が不安定になり事業の安定的な運営が難しくなるため実施する考えはない。

**問** 町民の声を反映した番組を作るため町民アンケートを実施する考えは。

**答** きたひろネットセンター次長

審議会で検討し、実

**問** 音声お知らせ。施していきたい。

**答** きたひろネットセンター次長

買い物支援や安否確認などの多様なシステムは、可能性や効果、コストなどを見極め検討していく。

**問** 「ゆうあいネット」の撤去工事のスケジュールは。

**答** きたひろネットセンター次長

平成26年2月末までに設備を撤去する。



藤井 勝丸

**問** 地方公務員の給与削減より先に国会議員及び給与減らせ

**答** 国からとやかく言われる筋合いにない

**問** 合併などで職員数の減・給与を削減し行財政改革を断行している。国が地方公務員の給与を削減するため、地方交付税を減らす方針は容認できない。

町長の所見、反対姿勢をアピールする考えはないか。

**答** 町長

地方公務員の給与カットと刺し違えに地域元気づけ交付金を盛り込み、平成25年度には地方公務員給与削減分を元気づけ事業に振り向ける方針等からこれからの国の方針を見極め

対応する。

**問** 町道改良工事予算の適正な執行を問う

**答** 町道の整備は町民にとって身近な施策であり、町内建設業者、公共事業が町の経済活性化、災害時の緊急対応等に貢献されていることから、予算の確保、適正な執行を求める。

**問** 町民にとって身近な施策であり、町内建設業者、公共事業が町の経済活性化、災害時の緊急対応等に貢献されていることから、予算の確保、適正な執行を求める。

**答** 建設課長

①平成21年～23年度と翌年度への繰越額が多い。  
②大朝筏津橋の工事ミス及び千代田有田の町道改良横断歩道など舗装のやり直し事故の損害、再発防止策。

③川戸尾長線町道改良工事～平成21年度から24年度にかけて「設計費」などの計上繰越は適正な執行と言えるのか。

④町民の要望などに適切に対応処理しているか。

①災害復旧など年度途中追加された。  
②体制を強化する。  
③国土調査との調整などによる。  
④要望整備簿、引継書を作成していく。



室坂 光治

問

道路改良について問う。  
定住促進住宅の計画を求める

答

来年度  
橋の架け替え工事を実施

問

一級河川小河  
内川改修事業で  
未着工となっている  
区間があるがこの地  
区は梅雨・台風時に土  
手が崩れ川幅が狭く  
なっている事、又高齢  
化を向かえ草刈作業  
等を継続するのが年々  
困難になっている。で  
きれば今後県と話し  
合う場を作って頂き  
たい。今後の見通しに  
ついて問う。若者定住  
促進住宅の建設は周  
辺部が元気になる力  
ンフル剤でもありそ  
の地域の担い手候補  
者でもある、若者が地  
域で生活し地域の中  
で活躍してほしい。平  
成25年は北広島町周

答

建設課長

辺部の住民に夢と希  
望のある本格予算を  
期待する。

工事の実施にあた  
っては地元及び関係  
者に工事内容につい  
て周知する機会を持  
ち着手していく。又  
今後は今年度上流側  
の橋梁の設計を行い  
来年度橋の架け替え  
工事を実施、その後  
順次下流側から護岸  
整備を行っていく予定。

答

企画課長

定住促進住宅建設  
について平成25年度  
に新庄井関住宅用地  
の造成を行い、また



▶大島橋架け替え工事(吉木地区)

平成26年度に建設予  
定している。若者定  
住を今後図っていく  
ため働く場所と住む  
場所をきちんと施策  
し整えていくため町  
の遊休地を有効活用  
する。平成25年度豊平  
地域の見解として町  
民の健康づくりを大  
きなテーマとし施設  
のリニューアルも進  
めていく必要がある。



梅尾 泰文

問

米軍機「騒音測定器」の  
活用結果は

答

十分活用する

問

米軍機の低空  
飛行による騒音  
被害は依然改善され  
ていないが、昨年9  
月に補正予算を組み  
騒音測定器を4基設  
置された。

問

依然として低  
空飛行が多く確  
認されているが、測  
定器での指数調査(70  
デシベル以上)の状況  
把握はされているか。  
またこれらの騒音測  
定器が屋外でなく屋  
内に設置されているが、  
正確に測定できるのか。

問

騒音測定の本  
来の目的をかな  
えられる機種選びが  
基本である。

町内のどこに設置  
され、どのように騒  
音をキャッチし、そ  
れをどこに集約して  
活用するのか説明を  
求める。

答

総務課長

年間7000〜9000  
件の目撃情報がある。  
騒音測定器は芸北支  
所、八幡出張所、美  
和出張所と大朝支所  
に設置している。

答

総務課長

騒音指数70デシベ  
ルを超えた日は1月  
9日、11日、17日、  
29日で、データは  
芸北支所で取りまと  
めて、県に指数も含  
めて報告している。  
測定器の屋外設置に  
ついては、気温がマ  
イナス10度以下にな



▶八幡出張所の騒音測定器集音マイク



箕牧 智之

## 問 周辺部対策を問う

答 さびれないようにしていく

問 合併以来8年  
が経過、町の周  
辺部がどのように変  
化したのか。周辺部  
の町民は高齢者、一  
人暮らしが多く町に  
声が届きにくいとい  
う小言を聞く。

答 企画課長  
町の施策を進める  
うえで周辺部に差を  
つけることはない。  
限られた予算を効果  
的に使い全体の振興、  
活性化に心がけていく。

答 建設課長  
道路、トンネルに  
ついては引き続き要  
望していく。

答 産業課長  
周辺部の耕作放棄  
地については新しい  
集落営農の検討が必要  
進まない。

答 町民課長  
産業廃棄物の置き場、  
米軍の低空飛行など  
暮らしを脅かしている。  
周辺部は町全体をと  
づいて対応していく。

答 産業課長  
千代田に多く生活環  
境を守るため法に基  
づいて対応していく。



▶周辺部に暮らす高齢者の生活は厳しい



藤堂 修壮

## 問 農地バンクの創設を

答 農地政策に重要な課題

問 高齢化により  
田畑の管理や耕  
作が不可能となり、周  
りに管理してくれる  
人や法人もない、そん  
な個人や地域が多く  
なっている。その農地  
は最終的には手が付  
けられなくなり放棄  
せざるを得ない事態  
が発生している。荒廃  
してしまうまでに生  
かされる農地の活用  
が必要で農地バンク  
を創設し放棄する前  
に所有者がバンクに  
登録し情報を広く発  
信して農地活用を促  
進する考えは。

答 建設課長  
平成24年度で予備  
設計を行っている。  
27年度からの道路整  
備計画で位置付ける。  
早期改良に向け道路  
整備局長や関係課に  
要望や状況説明をし  
ている。

見通しは。

の耕作放棄地は100・  
7ヘクタールある。現  
状農地委員会により  
農地の管理は行っ  
ている。個々の情報を集  
約し耕作放棄地を活  
用農地として一括管  
理し農地情報を提供  
する仕組みづくりが  
必要。農地政策に農地  
バンクは重要な課題  
であり農業委員会や  
地域農業集団などと  
連携し協議に取り組む。

県道八幡雲耕線  
改良の進捗は

問 八幡雲耕線改  
良は住民や通行  
者の長年の悲願である。  
事故も多発し危険な  
道路であるが改良の

答 産業課長  
24年度で北広島町



▶荒廃した農地



大下 正則

問

町内の会社等における  
障害者法定雇用率の実態は

答

障害者関係の法律が変わるなか、  
本町も遅れないように取り組む

問

本年4月より  
障害者総合支援

法で1・8人から2・0  
人に定められている。

本町において現状と進  
捗状況について伺う。

①本町内の会社、役  
場、農協等の事業  
所に雇用されてい  
る実態は。

②障害者を雇用した  
事業所に対し、補  
助金などの助成は  
あるか。罰則は。

③障害者が有利に雇  
用できるための職  
業訓練校的な事業  
は。

④障害者から就労に  
対し相談はあるか。  
⑤雇用されている障  
害者が1年以内で

答

福祉課長

退職している実態  
が多いが。

①ハローワークが直  
接連携しているの  
で把握していない。

②特定求職者雇用者  
1人に対し1・5  
年で135万円が  
出ている。補助事  
業は10種類ある。

雇用しない場合、  
事業所が罰則とし  
て納付金を納めて  
いる。

③広島県能力訓練校  
があり、6種のメ  
ニューがありIP  
関係が多い。  
105人の求人



▶ 立地定住推進室の就職相談

問

芸北、大朝4力所  
の騒音測定器の  
測定で70デシベルを  
超えた回数。

答

総務課長

1月9日・1回、11日・  
3回、17日・5回、29日・  
1回。

問

邑南町は公民  
館エリアごとに

2人、浜田市は職員26  
人を情報収集員に、三  
次市は保育所、小中学  
校にも報告を求めて  
いる。町民から情報提  
供を求めているのか。

答

総務課長

特定の人をお願い  
する考えはない。

問

米軍機低空飛行  
竹下町長は米軍に直接抗議を

答

広島県に中止を要請していく

問

浜田市の市長  
は米軍や政府に  
直接抗議している。ま  
た欠陥機オスプレイ  
が夜間の編隊飛行訓  
練を行うことが明ら  
かであり、町民の安全  
を守る責任がある町  
長としては直接中止  
を求めるべきではな  
いか。

問

島根県は5市  
町の首長で「石見  
地区在日米軍機飛行  
騒音等対策協議会」を  
設立。北広島町も連携  
を呼びかけてはどうか。

答

町長

責務は広島県にある。

道の駅  
採算がとれる根拠は

問

多額の税金を  
投入しても採算  
がとれなければムダ  
になる。採算がとれる  
根拠を示せ。

答

産業課長

指定管理する業者  
から収支計画を提案  
してもらおう。



▶ パネルを使って説明

答

町長

防衛省・アメリカ当  
局への対応は県である。



浜田 芳晴

**問** 若者の定住策を問う

**答** 基金の造成を始めている

**問** 北広島町の周辺部地域には若者が定着しない。働く場の企業は外国に行く時代。少しでも働く場の確保が必要。可部方面に働く場を求めながらも若者は親とは住まない。若者の住む安い住宅を建て、子どもを育てる保育料を無料化、学費の無料化、医療の無料化などのメリットを考え、周辺部に若者が定住する住宅、子育て基金を10年間のスパンで考えてみてはどうか。働く場は北広島町で、広島市に住む原因はどこにあるのかを考えて

**答** 町長

若者定住は23年度、芸北、24年度豊平に住宅整備をしてきたが、住環境を整えながら定住の拡充・強化が必要で、子育て支援もセットで考え、24年度から過疎債を利用した基金の造成を始めている。住宅整備は国の補助事業を利用している。

**答** 町長

商工会青年部と若者定住を考えた勉強会等を始めた。

の基金充当事業として盛り込んでいる。

過疎債ソフト事業に充てるための基金造成を約4億円を目標に行っており、子育て支援も過疎計画

**答** 財政課長

過疎債ソフト事業に充てるための基金造成を約4億円を目標に行っており、子育て支援も過疎計画



▶ 志路原団地若者定住促進住宅



伊藤 久幸

**問** 雇用定住促進策を

**答** 体制を強化し  
かつ積極的に展開する

**問** 企業誘致と雇用、定住促進は一体的なもの。人口減に歯止めをかける打開策を町、議会が一致して強力に推進する必要がある。

行政報告(立地定住促進室)で雇用定住促進対策について事業の進捗、実績について実数を交えて報告があった。成果実績をどう評価しているか、また、今後の対策は。

**答** 町長

求人情報センター設置(平成18年)以来、県内過疎市町の中で件数、人口減少率4・

**問** 消費増税が目前に迫り駆け込み建設等々が想定される。他町に負けない対策は。

**答** 町長

国策として一定の所得税控除等々を検討、動向を勘案する必要がある。

**問** 事業、平成25年度新庄井関住宅団地予定地に着手。どのように進めて行くのか、

**答** 町長

町、民間が比較検討しながら判断していく。

具体案を示して答弁を。

**答** 町長

保小中高、病院、図書館等々環境整備されて利便性の高い立地、環境に配慮し、また、田舎暮らしが満喫できる住宅構想を作り上げ整備を考える。

**問**

メガソーラー。本町独自の建設推進は。

**答** 町長

町、民間が比較検討しながら判断していく。



中田 節雄

**問** 中国の有害濃霧の被害対策をどうするのか

**答** 情報を収集し、対策が必要ななら周知を徹底していく

**問** 中国の有害濃霧(PM2.5)は、

中国国土の四分の一の面積に広がり、6億人の人が被害を受けていると報道がされており、日本にも飛来し、特に九州では日本の基準値の3倍にあたる数値が報告されている。市販されているマスクでは予防効果はなく、医療用マスクでなければ、予防効果はないとも報道されている。これから、偏西風が強まり、黄砂、スギ花粉、微粒子が結合し化学変化により、より有毒な物質に変化することも考えられる。児童・生徒への

**答** 町民課長

健康管理、そして農産物への被害等、町民の安全安心の暮らしをどのように担保するのか問う。

**答** 産業課長

この超微粒子物質PM2.5については、呼吸器の奥深く入り、喘息や肺がんの要因にもなると報道されており、広島県では、県内10カ所で測定されている。県において対策が講じられた場合は、迅速かつ的確に対応し、注意喚起が必要な場合は、きたひろネットや防災無線を通じて周知していく。

**答** 学校教育課長

今のところ、県教委からの指示はなく、今後情報を集めていく。



▶ 校庭で遊ぶ児童



亀岡 章治

**問** 民意を尊重する行政の推進を求める

**答** 民意を的確に把握する事が基本である

**問** ①行政の仕事はまさに民意こそ原点と思うが

②行政の在り方について、最小の予算で最大の効果を出す事が原則と考える。町長の見解を求める。

**答** 町長

① 民意を的確に把握する事が基本である。  
② 限られた予算で充分な成果を出す事も当然である。

**答** 町長

見直し署名は、全町民の願いと一致するものだ。  
民意について、町民の思いや私の思いと町長の考え方の決定的な違いを感じ極めて残念であり、道の駅の前途に懸念を抱かざるを得ないがどうか  
道の駅第2期整備事業は、反対もあれば賛成もある。強いリーダーシップで事業を成功させる。

**問** 道の駅第2期整備事業は過大投資だ。当初計画3億円以内の見直し案は、まさに町民の願いであり、4000余名の



▶ 工事が進む道の駅



久茂谷美保之

問

芸北中学校・  
豊平中学校の整備は

答

予算を考え整備する

問

平成25年4月  
から芸北学園、

豊平学園がスタート  
する。学校と教育委  
員会の連携により子  
ども達の学校生活が  
生き生きとなるよう  
に望む。また、豊平  
中学校体育館の耐震  
対策と、芸北中学校  
の校舎、体育館の新  
築は、いつ計画され  
るのか。場所はどこ  
にするのか。

答

教育長

小学校の統合により、  
現場である学校と教  
育委員会が連携し、  
子ども達の様子を見  
ながら、対応していく。  
豊平中学校体育館は、



▶ 豊平小学校新築工事



▶ 芸北中学校

## 意見書提出(議員提案)

地方財政の充実・強化を求める意見書(要旨)

1. 医療、福祉分野のセ  
ーフティーネット対策  
の充実を図り、2012  
年度を下回らない地方  
の一般財源総額を確保  
すること。
2. 東日本大震災及び原  
発事故の対策に必要な  
予算を別枠で確保する  
こと。
3. 地方財政計画の給与  
関係経費・地方交付税の  
算定に国家公務員の給  
与臨時削減措置を反映  
させないこと。
4. 公共事業については、  
中長期的な視点で地域  
の必要性や内容を精査  
し対応すること。
5. 自動車取得税、重量  
税の見直しは、代替財  
源の確保を前提とする  
こと。また、償却資産の  
固定資産税及びゴルフ  
場利用税は現行制度を  
堅持すること。

【提出先】衆議院議長、  
参議院議長、内閣総理大臣、  
総務大臣、財務大臣、  
国土交通大臣

所得税法第56条の廃止を求める意見書(要旨)

家族従業員の働き分は、  
所得税法第56条により、  
必要経費として認められ  
ていないため、経済的に  
も社会的にも自立できな  
い状況となっている。し  
たがって、家族従業員の  
人権保障の基礎をつくる

【提出先】衆議院議長、  
参議院議長、内閣総理大臣、  
総務大臣、財務大臣、  
厚生労働大臣

参議院議長、内閣総理大臣、  
総務大臣、財務大臣、  
厚生労働大臣

# 新しく選ばれた議員と役割

3月19日、初議会で議席番号や役職を決めました。議場の正面から見た配列による議員名と役職です。(数字は議席番号)



北広島町議会 議長

## 加計雅章

北広島町第3期の町議会選挙が3月に執行され、合併時の議会定員26人から平成21年6人減の20人に、そして今回、第3期にあたり2人減の定員18人となりました。

さて、合併後3期目を迎えた北広島町は、また新たな第一歩を踏み出します。

本町も、少子化の波が押し寄せ、若者が減少する中で、定住を中心に、自立できる町をめざして進みたいと思います。

こうした中で、私たちは町民の皆様方のご意見を十分に吸い上げ、常に情報を公開し、開かれた町をめざして参りたいと存じます。



⑥ 森協誠悟

総務常任委員会  
議会広報特別委員会



⑦ 柿原徳則

産業建設常任委員会  
議会広報特別委員会



⑧ 室坂光治

産業建設常任委員会



⑨ 中村勝義

総務常任委員会  
監査委員



⑩ 伊藤久幸

文教厚生常任委員会  
議会広報特別委員会



⑮ 美濃孝二

総務常任委員会副委員長  
議会広報特別委員会副委員長



⑯ 大林正行

総務常任委員会  
議会運営委員会  
議会広報特別委員会



⑰ 宮本裕之

文教厚生常任委員会副委員長  
議会広報特別委員会委員長  
芸北福祉会 理事 評議員



⑱ 加計雅章

議長  
芸北広域環境施設組合議会議員

## 各委員長の抱負

### 総務常任委員会

委員長 梅尾 泰文

議員が変われば議会が変わる。

議会が変われば町が変わる。総務常任委員会として町の財政分析や、議会改革基本条例の議会提案に中心的に取り組む。そして町民に開かれた議会づくりをめざします。

### 文教厚生常任委員会

委員長 真倉 和之

世界に例のない速さで進む日本と北広島町の少子高齢化社会。誰もが不安を感じる時代です。安心して子育てができる環境作り、義務教育の充実、将来へ安心して生活できる健康作り福祉の向上に取り組むのが委員会の所管です。期待に応えるよう努力いたします。

### 産業建設常任委員会

委員長 蔵升 芳信

景気対策に伴う公共事業の増



北広島町議会 副議長

## 浜田 芳晴

私は議会の『融和』を考え議長を支えます。59年農業委員になり、地区120haの圃場整備を計画。総会で「私が75歳（現65歳）までに担い手が集落に育たないと、力やが立ち、秋の月見会で残念会を」と説明。以後、農委21年、議会10年と農地の上に職場を作り、研修生を町内外から独立させ、県内一の2億円の花の苗産地化。産地は人を育てますから：今議会は農業の担い手対策だけでなく、若者の定住する周辺地域に安い住宅と子育て支援のセット、高齢、障害福祉の課題を町政に『急ぎ』『ねばり強く』『地道』に訴えてまいります。



① 浜田 芳晴

副議長  
文教厚生常任委員会  
議会運営委員会



② 中田 節雄

議会運営委員会委員長  
文教厚生常任委員会  
芸北広域環境施設組合議会議員



③ 久茂谷美保之

産業建設常任委員会  
山県西部衛生組合議会議員  
芸北福祉会 理事 評議員



④ 藤堂 修壮

産業建設常任委員会副委員長  
議会広報特別委員会  
山県西部衛生組合議会議員



⑤ 梅尾 泰文

総務常任委員会委員長  
議会運営委員会



⑪ 真倉 和之

文教厚生常任委員会委員長  
議会運営委員会  
広島県後期高齢者医療広域連合議会



⑫ 藤井 勝丸

産業建設常任委員会  
議会運営委員会副委員長  
芸北広域環境施設組合議会議員



⑬ 蔵升 芳信

産業建設常任委員会委員長  
議会運営委員会



⑭ 田村 忠紘

文教厚生常任委員会

大、環太平洋連携協定参加による農業問題、また、「道の駅舞ロード」の管理運営等、当委員会に課せられる課題は多岐にわたります。土木・商工・農業等各分野に精通した6名の委員で最善を求め取り組みを行います。

### 議会運営委員会

委員長 中田 節雄

昨年1年間、議会改革特別委員会で検討してきた、議員の意識改革、委員会活動の充実、そして情報の公開の3点を重点課題として、今まで以上に、より一層分かりやすい議会となるよう努力してまいります。

### 議会広報特別委員会

委員長 宮本 裕之

議会だよりは議会と町民の皆様との架け橋の役目を担っています。本会議での審議、委員会報告、要望や陳情についても詳しく掲載し、「読みやすく、分かりやすい」議会だよりをめざして委員一同頑張っております。



## 北広島町議会 第3期スタート



▲11人の新入生

芸北地域5校の小学校が統合し、この4月から、芸北学園北広島町立芸北小学校としてスタートしました。4月10日は第1回の入学式が挙行され、新入生11人が希望を胸に元気に入学し、担任の先生から名前を呼ばれると全員大きな声で返事をしました。全校児童数106人となり、複式学級の解消も実現しました。芸北学園構想の産みの親である、故・水野尚志作詞、柿内香子作曲の芸北小学校校歌を聞くと万感胸に迫るものがありました。バス通学の児童が大半を占める状況の中、交通事故のないよう、地域全体で児童の安全を見守ることが重要です。今後の芸北小学校の発展と子ども達の健やかな成長を心から願うものです。

### 表紙の写真

3月の町議選で選ばれた議員の中から新人議員2人を含む7人が議会広報特別委員会委員に選出され、「議会だより」の編集を担当することになりました。委員長はベテランの宮本議員です。

町民のみなさんに議会の様子をわかりやすくお知らせすることも、楽しく読んでもらえる紙面、届くのが待ち遠しい「議会だより」をめざします。

そのため「議会の審議内容や結果を公開する」「難しい議会用語はできるだけ使わない」「写真やグラフ、見出しを活用し、見てわかる紙面にする」「町民の意見や提案にこたえる」など大いに工夫してまいりますので、お気づきの点やご意見などどんどんお寄せください。

町民のみなさんのご協力をお願いします。

【ご意見や提案の連絡先】

050・5812・1862

(議会事務局まで)



【発行責任者】

議長 加計 雅章

【議会広報特別委員会】

委員長 宮本 裕之

委員長 美濃 孝二

委員 藤堂 修二

委員 森脇 誠悟

委員 柿原 徳則

委員 伊藤 久幸

委員 大林 正行

あとがき